

団体名

## 梅が丘三世代を繋ぐ会

団体概要

地域の活動が世代を超えた顔の見えるまちづくりの必要性を感じ、3世代を繋いで顔がみえるまちづくりを目的とする。

- 町内会や老人会と繋がり、町の子供たちのための育成プログラム作りを実施する。
- 防災イベントを通して、子供たちと高齢者とのふれあいを深める。
- 駄菓子屋を企画、実施。

## 活動名：地域の連携協力による防災力の強化と助け合いの環境づくり

1

活動の目標をどの程度達成できたか

この活動は3つの目標を掲げています

- ①町内会や老人会と繋がり、町の子どもたちのための育成プログラム作りを実施する。
- ②防災イベントを通して、子どもたちと高齢者のふれあいを深める。
- ③駄菓子屋を企画、実施。

このうち、①については、老人会と繋がり、「まちのひみつきち」という名称の昔遊びを中心とした交流イベントと「つむぎ倶楽部」という交流イベントを行いました。

②については、子ども会のお餅つき大会とコラボレーションをして、体育館で不審者から身を守る体験ゲームを老人会を中心とした町の方々の協力のもと行いました。

③については、毎月第3木曜日を開催日とし、代表者の家を開放しています。子どもたちは駄菓子やたません、ボードゲームを楽しみに40～50名が3：30～6：30の間、入れ替わり訪れています。回を重ねるごとに、協力してくださる方も増え、近所の畑のおじいちゃんからの差し入れて、野菜スティックや豚汁のふるまいをし、それもまた、子どもたちの楽しみになっています。



2

活動の成果



様々なイベントを行ったことで地域の多くの皆さんが活動を知り、「できることがあれば、声をかけて。」「次は何時するの？」等の声掛けを頂き、様々な年代を越えて繋がることの楽しさを感じる機会を提供することができたと考えています。

活動の中心にある三世代交流の仕組みづくりはおおむね実現できたと思います。



## 3

## 目標達成のために努力したこと（工夫）

この地域では老人会も町内会も子どもたちとの交流を求めていますでしたが、地域のしがらみや人間関係などで動き出せない状況であったと思います。町内会長と子ども会の会長を経験したメンバーが組織を離れて、制約のない中で、世代を繋ぐきっかけ作りを工夫したことで多彩な交流が生まれました。



## 4

## 活動で得た学び（みんなに伝えたいこと）

同じ思いの仲間を作ることがベースにあります。「この人となら、同じ熱さをもって、同じ景色を見ることができると感じられる同志を得たことで、思いの相乗効果が生まれ、様々な人を巻き込みながら、楽しいふれあいの場を実現することが出来ました。

子育て現役で仕事を持ちながらの活動なので、無理をせず、「やれることをやれるときにやれるだけ楽しむ」という事が今後の活動への活力に繋がっています。

